影け死長 のれぬい1 ■よどほ間 もういどー うにつ淋人 ーピのしで 人ッ間く じタにてー やリか 人 なと泣う いの僕いき 寄のた 孤り傍夜で 独添らもい とうにあた 二友っか 人が たら だい かた

優お町ボ し前をン2 くは歩ヤ も話母いり うしのてし 一かよもて 人けうて じに部も や慰屋 なめ僕に考 いての一え く側人て 孤れでいい 独るってて もも 人だから

おあしべ 前れにツ3 がはじト 七来あみに うてれ思腰 一かでう掛 人らいのけ じはいさて や な光僕過お いがのぎ前 満側去を 過れた二人だから 過ちている 知性と二人だから

寄影僕け泣死一長1 ののれいぬ人い う添よ傍どたほっ間 ううらい夜どきー 二人友ににつも淋 (V) 人じがピ のあしでで だやいツ 間つくい かなたタ にたてた か か らい

町者ボをえ お部 2 屋 はに歩行 ように も も ても

僕 憂 く 話 側 化と二人だからソー人じゃない C < か じる

削

母

3

僕あ過し 光お お のれぎに 削 前 満が は去じ を 側 ち来にあっみ見に れた思て 腰 7 う 1" か 61 だや る 5 る \bigcirc かな いをさと は

501